

学級会に主体的に参画し、協調的な話し合いを図る生徒の育成 -事前準備と本時における教師の生成AIの利活用と手立ての工夫を通して-



特別研修員 特別活動 越澤 昂洋(中学校教諭)

生徒の実態 <ul style="list-style-type: none"> 学級会の議題に自分の意見をもつことができるが、発信できる生徒は少ない。 話し合いの運営に不慣れな生徒が多い 話し合いの際、感情的な対立になり、協調的な話し合いが難しい。 	手立て1 <p>主体的な参画を生むための教師と計画委員による事前準備</p> <p>教師が生成AIを利活用(※)し、議題決定に向けた意見集約と計画委員による進行計画案を作成する。</p>	成果 <p>文科省のガイドライン(※)に基づき、教師が生成AIを利活用し、生徒の意見を客観的に可視化した。これにより、生徒は自らの意見が反映されているという実感をもち、当事者意識をもって学級会へ主体的に参画する姿が見られた。また、生徒は多角的な視点や少数意見に自ら気づき、感情的な対立にならず協調的な話し合いとなった。</p>
教師の願い <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が意見を発信し、学級会に主体的に参画してほしい。 話し合いの運営に自信をもたせたい 協調的な話し合いができるようになってほしい。 	手立て2 <p>「個々の意見集約の効率化」と「集約された意見の可視化」による協調的な話し合い</p> <p>教師が生成AIを利活用(※)し、議題に対する生徒一人一人の意見を集約し、可視化した「意見の表」として生徒に提示する。生徒はそれをういて話し合う。</p>	課題 <p>教師の生成AIへの指示によって、話し合いを活性化させる手立ては多様であり、教師がどのような話し合いをさせたいか明確な方針や意図が必要である。</p> <p>教師の生成AIの利活用は一つの「手段」であり、生徒が自分たちで決めたという実感を伴うこと、決めたこと意思をもって取り組むという学習過程が大切である。</p>

※「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」文部科学省 初等中等教育局 令和6年12月26日Ver. 2.0 参照

議題名:文化祭の出し物を決めよう(第1学年)

手立て1 主体的な参画を生むための教師と計画委員による事前準備

計画委員の意見集約に生成AIを利活用 <ul style="list-style-type: none"> 計画委員がGoogle Formsで議題を募集し、生徒は意見を自由に書き込む。 <ul style="list-style-type: none"> 教師が生成AIで短時間に生徒の意見を集約し、複数の議題案を計画委員に提示する。 	学級全員で議題の設定 <ul style="list-style-type: none"> 複数の議題案から、計画委員が決めた「今の学級で話し合うべきこと」について全員に提示する。 <ul style="list-style-type: none"> 文化祭が間近に迫ってくるという必要感や切実感のある議題を全員で主体的に設定する。 	計画委員の運営の入念な確認 <ul style="list-style-type: none"> 教師が生成AIを利活用して進行案を提示し、計画委員はそれを基に進め方の計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> 教師と計画委員同士で学級会本番の進め方について十分に話し合う。
<p>準備負担の軽減・議題の自分事化</p>	<p>話し合う必要感・会の見通しの共有</p>	<p>運営面の主体的な参画の促進</p>

手立て2 「個々の意見集約の効率化」と「集約された意見の可視化」による協調的な話し合い

個々で議題に対する意見をもつ場面 <p>自分の意見を出しやすい</p> <p>自分のアイデア アイデア出しの効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言が苦手な生徒も安心して議題への意見を個々にGoogle Formsに入力する。3分で入力完了 教師が生成AIを利活用し、意見を瞬時に整理・分類し、「意見の表①」として可視化する。 	「意見の表①」を共有する場面 <p>表の中であなたはどれがよいと思う? どうしてよいと思う?</p> <p>自分のアイデア みんなのアイデア 協力・調和・対話の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 小グループで自他の意見を認め合い、伝え合う。 「意見の表①」に出された内容を共有する。 話し合い後の意見をGoogle Formsに再入力し、教師が生成AIを利活用し「意見の表②」を作成する。 	全員で合意形成を図る場面 <p>みんなに納得してもらうには... 他の意見も取り上げて話し合う</p> <p>十分な時間の確保 合意形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 「意見の表②」で学級内の意見を可視化し、全員で合意形成に向けて話し合う。20分じっくり 計画委員が協調的な話し合いを促進し、多数派の案に少数派の意見を組み込む形に決定する。 																
意見の表① <table border="1"> <thead> <tr> <th>出し物のアイデア</th> <th>その理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劇(演劇)</td> <td>クラスの協力・団結力を高めたい (みんなで一致団結したい、協力するのが楽しそう、絆が深まりそう) アニメなどの劇をやったら面白そうだから</td> </tr> <tr> <td>ダンス</td> <td>クラス全員で楽しめると思ったから 盛り上がりとおもったから</td> </tr> <tr> <td>展示</td> <td>やったら面白いかなと思ったから</td> </tr> <tr> <td>クイズ大会</td> <td>(特に理由の記載はなかったが、アイデアの一つとして挙がった)</td> </tr> </tbody> </table>	出し物のアイデア	その理由	劇(演劇)	クラスの協力・団結力を高めたい (みんなで一致団結したい、協力するのが楽しそう、絆が深まりそう) アニメなどの劇をやったら面白そうだから	ダンス	クラス全員で楽しめると思ったから 盛り上がりとおもったから	展示	やったら面白いかなと思ったから	クイズ大会	(特に理由の記載はなかったが、アイデアの一つとして挙がった)	生成AIへの指示について (プロンプト入力) <p>プロンプトには教師の意図を入れる。本実践では「出し物のアイデア」「その理由」の2項目で表を作成してほしいと指示した。 ※プロンプト入力文(例)は報告書を参照</p>	意見の表② <table border="1"> <thead> <tr> <th>出し物のアイデア</th> <th>その理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劇(演劇)</td> <td>「全員参加・協力」：裏方などもあるから、やりやすい。「楽しさ・仲」：クラスの仲が深まると思ったから。「面白さ・盛り上がり」：面白くて盛り上がりそう。</td> </tr> <tr> <td>ダンス</td> <td>「みんなで楽しめる」から。</td> </tr> </tbody> </table>	出し物のアイデア	その理由	劇(演劇)	「全員参加・協力」：裏方などもあるから、やりやすい。「楽しさ・仲」：クラスの仲が深まると思ったから。「面白さ・盛り上がり」：面白くて盛り上がりそう。	ダンス	「みんなで楽しめる」から。
出し物のアイデア	その理由																	
劇(演劇)	クラスの協力・団結力を高めたい (みんなで一致団結したい、協力するのが楽しそう、絆が深まりそう) アニメなどの劇をやったら面白そうだから																	
ダンス	クラス全員で楽しめると思ったから 盛り上がりとおもったから																	
展示	やったら面白いかなと思ったから																	
クイズ大会	(特に理由の記載はなかったが、アイデアの一つとして挙がった)																	
出し物のアイデア	その理由																	
劇(演劇)	「全員参加・協力」：裏方などもあるから、やりやすい。「楽しさ・仲」：クラスの仲が深まると思ったから。「面白さ・盛り上がり」：面白くて盛り上がりそう。																	
ダンス	「みんなで楽しめる」から。																	